

田和山作業の再開について

新型コロナの関係で2か月程作業を中止していましたが、感染症対策の緩和に伴い6月1日から3蜜に留意しながら作業を再開することにしました。参加可能な方は下段の予定に従ってご出席下さい。なお、作業内容は日陰での作業を考え森の東側区域の除草が中心です。作業時間は今まで通りですが、7・8月になると暑さ対策として午前中の作業とします。これからは暑くなりますので、水分補給が十分取れるよう水筒等準備下さい。

ナンジャモンジャの花が咲く

森の病院側の整備は松愛会の方が続けておられ、植樹した樹木や草花が大きくなり小公園のようになっていきました。ここでは、今年ナンジャモンジャの花が咲きました。これは、以前会員で熱心に参加しておられた吉田トキ江さん（奥谷町）が寄贈し植えたものです。吉田さんは健康上の理由で退会されましたが、記念に何かを残そうと4本植えられ、その内の一番大きく育った1本に初めて花が咲きました。やがてどの木にも花が咲くようになり、病院に来た人を和ませるだろうと楽しみです。



佐伯ご夫妻退会

これまでご夫婦で熱心に参加頂いた佐伯光規・早苗ご夫妻が健康上の理由で6月末をもって退会されることになりました。特に、裏方的な仕事を積極的に取り組まれ、会として大変お世話になったこと感謝しています。有難うございました。体調に気を付けてお過ごしください。

◎ キンラン再調査

去る5月6日（日）予定の“キンランを楽しむ会”はコロナ禍のため、この日自主的に森に来た会員でキンランの再調査を行いました。多数の目で丁寧に調べた結果、株数が200本以上あることが解りました。なかには1株から8本の枝が出ている見事な花も見られました。この森の特徴は全区域に分布してきたことです。



8本枝の見事な花



田和山の樹木第10回 コナラ

ブナ科の樹木の3回目は、クヌギとともに里山を代表する樹木のコナラについて見ることにします。

島根県が以前に行った広葉樹林の資源調査によれば、コナラが出現本数、材積ともダントツの第1位となるほどポピュラーな樹木で、県内の山（標高でいえば800メートルまでの山まで）に行けば必ず見かけることが出来る樹木です。

私たちの生活には欠かすことが出来ない樹木で、家具材や床材として賞用されるとともに、薪や炭の材料として古くから利用されてきました。コナラは、煙が少なく（つまり燻ぶらないで発火する）、火持ちが良いということで薪に、火持ちと着火性に優れた炭として使われ私たちの生活になじみがあった。薪炭材の利用が少なくなった後はシイタケ原木として利用されています。



また種子は、ドングリと呼ばれるもので、野生の動物にとってはこの豊凶がその生存を決める重要なものですが、渋抜きをして食用にもなっていました。

コナラは典型的な陽樹（明るいとこを好む）であり、放置されてしまうとだんだん常緑の樹木（タブ、シイなど）に遷移（置き換わる）して消滅してしまいましたが、薪炭利用のサイクル（30年生で伐採）しその景観を維持していきたいものです。

初物のスイカ!

先日、乃木公民館長さんが大きなスイカを森まで運び込み寄贈されました。汗を流した作業の後、初物のスイカを全員で美味しく頂きました。ありがとうございました。



スイカを割る野村氏

・・・(竹下会長のNPO法人)

本会の竹下会長が理事長を務める“しまね野生鳥獣保護ボランティア(NPO法人)”が本年度の野生生物保護功労者表彰で環境大臣表彰を受賞されました。この団体は竹下氏が理事長を務め、平成13年から法人として活動を始め、多くの実績をあげています。

また、竹下氏はこの他多くの環境保護活動に関わっており、竹下氏の今回の受賞を皆で祝福したいと思います。おめでとうございます。

今後の作業予定

6月5日（金）13:30～、12日（金）13:30～、20日（土）9:00～、26日（金）13:30～、

7月3日（金）9:00～、10日（金）9:00～、18日（土）9:00～、24日（金）9:00～、31日（金）9:00～

8月7日（金）9:00～、15日（土）盆休み、21日（金）9:00～、28日（金）9:00～

7・8月は午前中作業